

発行所

一般社団法人 埼玉県電業協会
〒336-0031 さいたま市南区
鹿手袋4-1-7(建産連会館内)
TEL 048(864)0385
URL http://www.saidenkyo.jp/
E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

さいのかがやき
彩の耀

第 **165**号

平成24年7月27日発行

発行人 荻野勝治
編集人 広報委員会
(委員長 町田浩征)
編集 日本工業経済新聞社
(埼玉建設新聞)

平成24年度通常総会を開催



荻野会長

5月29日に、さいたま市中央区のプリランテ武蔵野で通常総会および一般社団法人移行記念懇親会を開催しました。通常総会では23年度会務報告・収入支出決算、定款と規定の一部変更、一般社団法人移行報告、24年度事業計画・収支予算報告、役員改選を審議していただき、すべての議案を原案のとおり承認していただきました。

役員改選では基本的に現在の体制を継承。定款変更に伴い外部監査から内部監査へ移行するため、積田優氏が新しく監事に就任したほかは全理事・監事が横滑りとなりました。

荻野会長は「業況は厳しく不安定要因が山積している。当協会は技術・技能に優れ将来につながる人材を確保し地位向上を図っていききたい。このためにも発注者に地元活用と分離発注を要望し、品質・価格に優れた成果品を納めなければなりません。電気設備工事のブランド価値を高めるためにも結束を固め一丸となって諸事業に取り組



優良従業員の受賞者

んでいきたい。皆様には無理難題をお願いすることになります。当協会が地域に根ざしたリーダーとして認知されるよう取り組んでいきます」と会員に協力を要請しておりました。

一般社団法人移行記念懇親会

総会終了後に行われた一般社団法人への移行記念懇親会では、上田清司県知事（代理・渡部貞一県土整備部副部長）、下保修関東地方整備局長のほか関連団体から多数の来賓が駆け付け、一般社団法人移行を祝いました。

懇親会の席で優良従業員表彰も行われ、勤続20年以上17人、勤続10年以上17人、優秀技術者5人が晴れの舞台上で祝福を受けました。

表彰者名は別表のとおりです（敬称略）。

平成24年度優良従業員表彰受賞者名簿

（永年勤続者部門 勤続20年以上）17名		（永年勤続者部門 勤続10年以上）17名	
会員名	被表彰者名	会員名	被表彰者名
イーテクノス株式会社	嶋根 榮三郎	イーテクノス株式会社	矢嶋 隆男
小沢電気工事株式会社	長谷川 明美	藤岡村電機株式会社	黒澤 大輔
川島電気株式会社	小出 和弘	小沢電気工事株式会社	大谷 晃
佐野電機株式会社	小林 悟	国益電設工事株式会社	澤田 佳幸
三位電気株式会社	齊藤 順一	佐野電機株式会社	瀧川 弘一
島村電業株式会社	岡村 勝二	三位電気株式会社	吉岡 大輔
嶺新電気株式会社	神谷 克己	嶺新電気株式会社	藤岡 辰徳
嶺根電気商会	佐藤 浩	嶺根電気商会	斉藤 博文
嶺大広電気株式会社	吉谷 一	相馬電業株式会社	黒崎 浩
嶺積田電業株式会社	星名 裕司朗	嶺大広電気株式会社	川端 政勝
嶺電成社	橋本 建	高山電設工業株式会社	新井 昭
那須電機工業株式会社	相馬 且幸	嶺積田電業株式会社	吉原 英雄
ニチデン技術サービス株式会社	黒沼 重夫	嶺電成社	鎌田 高弘
嶺万代電気工業株式会社	新井 慶一	嶺東電工業株式会社	永井 昭彦
嶺まつもと電機株式会社	丹波 真和	中村電設工業株式会社	渋谷 徹
嶺八洲電業株式会社	秋山 剛	嶺万代電気工業株式会社	奈良 和男
嶺ヤマト・イズミテクノス株式会社	落合 忍	嶺ヤマト・イズミテクノス株式会社	藤崎 直樹

（優秀技術者部門）5名

会員名	被表彰者名	対象工事名
嶺新電気株式会社	守屋 進	埼玉県議事堂表示システム工事
浦和電気工事株式会社	岡 裕章	20県住大宮七里団地第1工区電気設備工事
小沢電気工事株式会社	田村 健太郎	南児童相談所(仮称)電気設備工事
島村電業株式会社	増田 裕	09蓮田松韻高校新棟増築電気設備工事
嶺長井電機株式会社	吉谷 鉄太郎	10北部地域特別支援学校(仮称)特別教室棟ほか改修電気設備工事

「彩の耀」に寄せて



所沢市長 **藤本 正人**

一般社団法人埼玉県電業協会の皆様におかれましては、日頃から電気設備産業の適正な運営と健全な発展にご

尽力を賜り、社会生活の安定にご貢献をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

埼玉県南西部の雄都として発展を続けている所沢市は、東京都心から30km、武蔵野台地のほぼ中央に位置しています。また、日本初の飛行場が設置された「航空発祥の地」としても知られ、市の中心部には飛行場跡地を利用した広さ50haの「航空記念公園」や本格的なクラシック専用ホールを持つ市民文化センター「ミューズ」があり、一年を通じて多くの市民の憩いの場となっています。

私は、昨年10月、市民の皆様のご信任を賜り、市政を担当させていただくことになりました。公務を重ねることに、34万市民を有する所沢市の市長を務めることへの責任の重さと使命の大きさを改めて感じるとともに、「わがまち所沢」のまちづくりにかける決意を新たにいたしております。

「動け！所沢 紡ごう！絆」これは、私が市長選挙で掲げたキーワードです。東日本大震災と、それに続く原子力発電所事故を経て、私は「今変わらないでいつ変わる」という思いを強くしました。私たちは今こそ、新たな価値観を持って歩いていくべきであると、私は考えています。

まず、「動け！所沢」です。東日本大震災直後、被災地の惨状を報道で目にし、いてもたってもいられなくなった私は被災地へ赴き、全国から駆け付けた若きボランティアの方々と共に活動に勤しみました。この中で私は、「思うなら動け」「良いと思ったら動く者の時代が来た」ということを痛感いたしました。

「自ら動けば何かが起こる」「自ら動けば何かが変わる」。私はこれからの市政運営におきましても、前例や常識にとらわれず、機を見て敏に、正しいと思うことを自ら動くことで実現し、躍動感あふれる

市政運営をしてまいります。「動いてほしい」という市民の期待や願いを実践してまいります。

そして「紡ごう！絆」です。

戦後65年、私たち日本人は自由と個人主義を追求し、権利を主張することこそ正しい生き方だと信じ、過ごしてきたように私には感じられます。また、価値の多様化という言葉の下に、人と人の関わりが薄れ、自分にとってのみの便利さと快適さをひたすらに追及してきた結果、自らの正当性を主張し相手を批判する生き方が当然とされる時代になってしまったとも考えています。そのような時代は終わりにしましょう。人々が、大人が「連帯」していく社会を皆で作り、子どもたちに残してまいりましょう。「絆」を実感できる暮らしは、きっと豊かなものであると私は信じています。

さて、これからの具体的な政策については、「文教都市 所沢」の実現を目指し、次の5つの思いに沿って推し進めてまいります。教育については「日本一、子どもを大切にするまち 所沢」、環境については「エネルギーの自立、エコタウン 所沢」、福祉・自治については「絆を実感できるまち 所沢」、文化・ブランドについては「文化の風 薫るまち 所沢」、行政については「超親切的な市役所 所沢」。これらの5つの思いを市政運営の柱とし、強い信念で取り組んでまいります。そして個々の事業を実施計画に位置付け、着実に実現してまいります。

平成24年度は、私にとりまして初めの一步となる年度です。選挙を通して市民から賜りました負託と思いをしっかりと胸にし、所沢市全職員一丸となって、新たな所沢の創造に向け、一步一步進んでまいります。どうぞ皆様におかれましては、今後も引き続き市政に対しましてお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、一般社団法人埼玉県電業協会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、ごあいさついたします。

**新入社員
研修**

新入社員研修を実施



今年も「平成24年度新入社員研修－雇入れ時安全衛生教育－」を4月5日から2日間に亘って建産連研修センターで行いました。毎年4月に実施している研修で、講師の小泉一夫氏が新入社員を対象に、事故防止の

ために最低限知っておかなければならない事柄を分かりやすく解説していました。

今回の研修には19社と1団体から新入社員37人が参加。5日午前9時からみっちり安全衛生教育を受けていました。



技術講習会

1級電気工事施工管理技術 検定試験の受験準備講習会



4月19日（木）から5月24日（木）までの計5日間に亘り、建産連研修センターで平成24年度1級電気工事施工管理技術検定試験の受験準備講習会（学科コース）を行いました。

受講者数は18人。講師はケイ、教育企画サポート事務所の小泉一夫所長。

連日午前9時から午後5時まで模擬試験と個人指導（重要ポイント講義）を繰り返し行い、各受講生の個々の弱点克服と実践力を養い、6月10日（日）の本試験に向け合格をより確実なものとしていただきました。



職長教育

5月22日（火）と23日（水）の2日間で、(株)安全衛生推進会（南区南浦和）のご協力のもと平成24年度職長教育を行いました。参加した15人は皆、真剣に講師の話に聞き入っていました。

平成18年4月1日に施行した労働安全衛生法の改正は「職長等の教育事項に危険性・

有害性等の調査（リスクアセスメントの手法）」が追加されており、労働安全衛生法第60条（同施行令第19条）では、この教育を事業者に義務づけています。

当協会では、職長や作業中に労働者を指導監督する立場にある第一線の監督者の方々が、安全衛生についての知識を深めることが職場での労働災害防止に必要不可欠であり、教育を行う事の重要性を認識し、当講習会を実施しています。

「明日がよくなる為のキャリアルート」

学校を出て就職する。また、職を変えて、会社を変えて電気工事業に就職する。何のために就職するのでしょうか？日々生活をする為。家族を養うため。仕事を好きだから。それぞれ、正しいですよ。でも、「〇〇をするだけ」ではない筈です。「〇〇もするため」の筈です。家族を養うためだけに、仕事していたら飽きちゃいますよ。まあ日常そこまで考えて仕事なんかしてないですけどね。毎日、同じ状況のものなんて世の中に存在しません。じゃあ何の為に仕事をしているのかと言うのを自分自身で見出さないと、会社辞めちゃうとか、転職してみるとか、なっちゃう場合が多いです。

人間、黙っていても、前向きにしか歩けません。今日、後ろ向きに100歩進んでみようとする人なんかいないです。明日が不幸になれば良いと思っている人は皆無です。でも、幸せになる為の考えをもって、日々仕事の中で意識的に実践している人も少ないと思います。その為に、電業協会の事業で行っているのがキャリアルートです。就職して、スキルを身につけて、経験し、知識を経て、自身が会社の中や社会で貢献して行く役割をしめして行く道筋を、入社してから

人材育成委員：奥富 精一 (株)奥富電気工事) 退職するまで、例示して提案しています。急に手に入れたものは急に無くなったりします。だから、日々地道に自身の成長の過程をこのキャリアルートを通じて考えて仕事の糧にして頂きたいと思います。一人ひとりが成長を意識して行き、会社に貢献する人間が増えれば、その会社は少しずつでも良くなります。電気工事業界ってあったら便利な業界と言うよりも、無くなったら困る業界だと思います。社会的基礎の部分の担っている業界と言う事です。その為には人材づくりから！

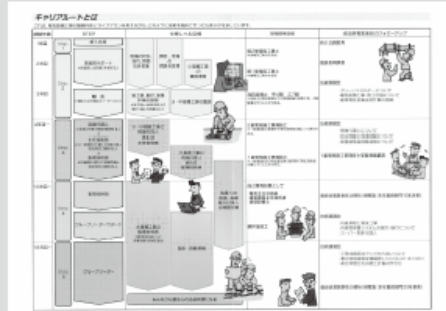
キャリアルートを始め協会の事業を通じて業界が発展する事を願ってやみません。

Saidenkyo Career Value

～キャリアルート～



一般社団法人 埼玉電業協会



「西部支部の近況について」

協会だより
西部支部

西部支部長 相馬電業(株) 代表取締役 古小高 取

西部支部内での活動としては、支部会議、営業担当者会議、支部内県土整備事務所（川越・朝霞・飯能）への挨拶回り、ロードサポート（年4回位）を主に行っております。特にロードサポートでは、支部中心に位置する川越市の『川越北環状線』野田町付近を活動場所とし、空き缶拾い、清掃、草刈りを行っております。作業時には、毎回、川越自動車学校様に駐車場のご協力をいただくなど大変お世話になっております。また、草刈り作業の効率化を図る為、昨年、事務局にお申し、草刈り機を申請、購入しました。とても便利なので、他支部での活動にも役立つと思います。必要時には、事務局または西部支部長まで連絡頂ければ、お貸し出しいたします。

近年、ボランティア活動が活発化しておりますが、我が町（和光市）に於いても、一つ特筆すべき「和光市企業市民」という制度が

あります。商工会が中心となり、行政・市民・企業による協働のまちづくりを推進するための制度で、市民の雇用促進、清掃ボランティア、子育て支援等さまざまな項目をクリアして、初めて取得できる制度です。企業市民になると、市より認定書（2年に1度更新）を頂き、会社の社会貢献の印となります。

皆様の町にも展開し浸透していけば、良い町づくりに役立つのではないのでしょうか。



さらに公益に寄与する電業へ ～平成24年春「旭日双光章」を受章して～



（株）八洲電業社 代表取締役社長 吉村克昌

平成24年4月29日 春の叙勲が発令され、専門工事業振興功労部門で栄誉ある「旭日双光章」を受章いたしました。

任意団体から50年余、公益法人となつて35年と先人達が営々と積み重ねた歴史と伝統ある（社）埼玉県電業協会からご推薦いただきました。

昭和49年4月32歳で当社の代表取締役に就任し、38年目の70歳で、このような名誉ある勲章を授かることは、私にとりましては光栄のきわみであります。反面、私ごとき者がこのような勲章を受章するに値する人物なのかと自問自答しております。

振り返りますと、私の人生は、埼玉県電業協会と共に歩んできたように思います。当社は先代の時代、任意団体埼玉県電業協会の設立に関与しました、私は任意団体から、公益法人（社）埼玉県電業協会となる過程で、法人化設立準備委員会委員として携わり、そして、今度の公益法人改革により、本年4月当協会は社団法人から一般社団法人へと業態を変えました。その折常任理事として、新法人の移行に立会いました。このような業界の変節の節目節目に立会えた事は、運命であるのかと思っております。

電業の長い歴史の中で、常に変らないものがありました、行政、特に埼玉県ご当局から長きにわたり、信頼を得ていたことであろうと思います。今日この信頼が我が電業協会の“芯柱”となっています。

行政からの「信頼」を得るために、すでに鬼籍に入られておられる我が業界の多くの諸先輩達が、自社の発展・繁栄はもとより、常に業界発展のために“口角泡をとばす激論討論”手弁当で“他県及び海外の業界視察”など心血を注ぐ姿を身近でしっかり見てきました。私もその隅の方で微力ながら参画させていただきました。又近年は活発な委員会活動、防災協定や公共福祉事業への積極的な取り組みをおこなっております。このような事が評価されたのだと思います、過去に多数の会員が勲章・褒章を受章しております。

この度の「旭日双光章」は私個人の受章というよりは、埼玉県電業協会全員の功績に対しての叙勲であると思えます。

昨年の東日本大震災のあと、復興に向け、助け合い、絆の精神で、本年新認可を受けました、一般社団法人埼玉県電業協会のさらなる協会価値向上をめざして「公益に寄与し顕著な業績」を成し遂げる電気工事業の発展に、埼電協の一員として努力する所存です。



「人を感動させる」ことの難しさ

旭電気工業(株) 代表取締役 北見史生



私が高校生の頃、フジテレビで時代劇ドラマが放映されていました。二代目中村吉右衛門主演による「鬼平犯科帳」で、原作者は池波正太郎でした。

水戸黄門などの時代劇を一切見ない私ですが、何故かこの鬼平犯科帳だけは虜になってしまい、次には原作である小説に手を出してしまいました。

当時の私は字を読むことが大嫌いで、まず本を読みません。読む新聞はテレビ番組欄のみ。親は字を読まない私に相当呆れていました。なぜ字を読むのが嫌いかというと、テレビが好きな私からすれば、本というものは映像がない、文字だけの退屈な世界。そんなものには一切興味がありませんでした。

でもそんな私の感覚を一変してくれたのが、池波正太郎の小説だったのです。小説の文章を読めば読むほど、ページをめくるほど、勝手に頭の中に想像が刷り込まれていきます。まるで頭の中でテレビを見ている感覚でした。

恐らくこの時以来でしょう、私がそれなりに本を

好きになったのは。

またこの時以来でしょう、文章の底知れぬ表現力に魅了されたのは。

絵画や彫刻に芸術があるように、文章にも芸術がある。文字だけで人を魅了する小説家の世界って一体どんな世界なのか。やはり芸術家と同じで、一つの作品を完成させるのに、もがきにもがいて、苦しみぬいて、悩みぬいて完成させたのでしょうか。

人を感動させる、というのは人を理解しなくてはいけないのであろう。芸術家にはその人の「独自の世界」があると言われていますが、それはきっと「人を理解した」超越な世界観なのでしょう。

そんな「人を感動させる」ことに憧れ、仕事に結び付けようと必死に頑張り、もがき苦しみ、溺れ落ちた私は見事に「私の殻」に閉じこもり、今、仕事をしています。

さあ明日もがんばろう。

協会のうごき

4月

- 5日 平成24年度新人社員研修1/2
新年度県庁挨拶回り
- 6日 平成24年度新人社員研修2/2
- 11日 さいたま支部会議
- 12日 事故防止対策委員会
- 17日 第1回理事会
- 19日 1級電気工事施工管理技術検定試験
受験準備講習会(学科コース)1/5
- 24日 官公庁挨拶回り
- 26日 1級電気工事施工管理技術検定試験
受験準備講習会(学科コース)2/5
人材育成委員会
- 27日 決算監査

5月

- 7日 一部三県会長会議
- 8日 第2回理事会
- 9日 第6回建築設備関連三団体連絡会議
- 10日 1級電気工事施工管理技術検定試験
受験準備講習会(学科コース)3/5
- 17日 1級電気工事施工管理技術検定試験
受験準備講習会(学科コース)4/5
- 22日 第1回常任理事会
平成24年度職長教育1/2
- 23日 平成24年度職長教育2/2
- 24日 1級電気工事施工管理技術検定試験
受験準備講習会(学科コース)5/5
- 29日 第3回理事会

平成24年度通常総会・第4回理事会
平成24年度通常総会及び一般社団法人移行
記念懇親会／平成24年度優良従業員表彰式

6月

- 14日 人材育成委員会
- 19日 第5回理事会・全体会議
- 22日 第7回建築設備関連三団体連絡会議

7月

- 4日 安全大会・人材育成委員会
- 12日 総合評価ポイントアップ勉強会
〔社〕埼玉県空調衛生設備協会共催〕
- 17日 第6回理事会

(社)埼玉県電業協会会員

支部長◎ 副支部長○

さいたま支部 (15社)

- 旭電気工業㈱(大宮区)
- 浦和電気工事㈱(南区)
- 大塚電設㈱(浦和区)
- ㈱岡村電機(緑区)
- 国益電設工事㈱(南区)
- ◎埼玉電設㈱(中央区)

(さいたま市)

- 三洋電設㈱(南区)
- 新生電気工事㈱(見沼区)
- 竹内電気㈱(岩槻区)
- ㈱積田電業社(浦和区)
- 中村電設工業㈱(見沼区)
- 浜野電設㈱(北区)
- ㈱万代電気工業(桜区)
- 瑞穂電設㈱(北区)
- ㈱八洲電業社(北区)

東部支部 (11社)

- ㈱内田電気商会(久喜市)
- ㈱大久保電気(越谷市)
- ㈱三進電気工事(上尾市)
- 島村電業㈱(上尾市)
- ㈱新電気(三郷市)
- ◎㈱大広電気(八潮市)
- 太洋電設工業㈱(越谷市)
- ㈱高岡電気工業(松伏町)
- ニチデン技術サービス㈱(北本市)
- 野口電気工事㈱(越谷市)
- ㈱弓木電設社(白岡町)

西部支部 (16社)

- ㈱新井電機(飯能市)
- 飯島電器工事㈱(川越市)
- ㈱市之瀬電設(志木市)
- ㈱岡島電気商会(川越市)
- ㈱おぎでん(川越市)
- 熊田電気工事㈱(狭山市)
- ㈱三共電気商会(和光市)
- ㈱関根電気商会(川越市)
- ◎相馬電業㈱(和光市)
- ㈱電成社(川越市)
- 橋電㈱(所沢市)
- ㈱橋本電工(所沢市)
- フジヤ電気工事㈱(川越市)
- ㈱まつもと電機(和光市)
- ㈱明電社(川越市)
- ㈱ヤマト・イズミテクノス(ふじみ野市)

- 三位電気㈱(川口市)
- 高山電設工業㈱(川口市)
- ㈱田部井電気(川口市)
- 釣谷電機㈱(川口市)
- 那須電機工業㈱(川口市)

北部支部 (16社)

- イーテクノス㈱(熊谷市)
- ㈱エコー(深谷市)
- 岡根電気工事㈱(本庄市)
- 小沢電気工事㈱(行田市)
- 共和電機㈱(秩父市)
- ◎熊谷電機㈱(熊谷市)
- ㈱栗原電機(深谷市)
- 霜田電気㈱(皆野市)
- 中外電気工業㈱(深谷市)
- ㈱東電工業社(熊谷市)
- ㈱長井電機(熊谷市)
- ㈱沼尻電気工事(深谷市)
- ㈱早川電工(行田市)
- ◎松山電設㈱(東松山市)
- ムサシ電機工業㈱(行田市)
- ㈱躍進電気(深谷市)

南部支部 (10社)

- 内山電設㈱(川口市)
- ◎㈱奥富電気工事(川口市)
- 川島電気㈱(川口市)
- ㈱佐久間電設(川口市)
- 佐野電機㈱(川口市)



全体会議を開催

当協会では2年に一度委員会構成を見直すために全体会議を開催しています。本年度はその年に当たり、建産連研修センターで6月19日に今年度1回目の全体会議を開催しました。当日、各支部会議を開いた後、会員の所属委員会を決めた上で各委員会を開催しました。今年度の各委員会活動計画・方針などを話し合った後、委員長から会議内容について報告が行われました。

総務委員会(委員長・㈱電成社)では総会・懇親会についての意見交換、優良従業員表彰などについて。企業対策委員会(委員長・㈱大広電気)では各種セミナーと新人社員研修について。技術研究委員

会(委員長・熊谷電機㈱)は2回予定している技術講習会について。事故防止対策委員会(委員長・相馬電業㈱)が安全大会と災害実働マニュアル作成などについて。広報委員会(委員長・国益電設工事㈱)では広報誌、会員名簿、ホームページなど、についてそれぞれ話し合い、全体会議で報告されました。

荻野会長は「艱難辛苦の時代だが会議の中で討議してもらい、協会としてどのようなことが出来るかを話し合っていたきたい。またかつて会員だった方に声をかけたところ、再入会していただけたような企業があります。皆で力をあわせ仲間を増やしていきたい」と一丸となって会員増に取り組むよう呼び掛けていました。



企業対策委員会



技術研究委員会



広報委員会



事故防止対策委員会



人材育成委員会



総務委員会